

式辞

壮観なほどに、咲き誇る桜が美しい季節となりました。やわらかな陽ざしと春の心地よさを感じる本日ここに、米原市教育委員会 本庄通子教育委員をはじめ、多くのご来賓の皆さまのご臨席を賜り、令和7年度米原市立大東中学校の入学式を挙行できますことを心から感謝申し上げます。

保護者の皆さまにおかれましては、希望と不安が混じった中学校生活のスタートだと思います。これまでの子育てに敬意を表するとともに、お子さまのご入学、まことにおめでとうございます。高段からではありますが、心よりお祝い申し上げます。

ただいま、呼名に対し、元気な返事で答えてくれた104名の新入生のみなさん。入学おめでとう。みなさんは、小学校でそれぞれに力をつけ、大きな成長を遂げました。そんな皆さんの入学を心待ちにしていました。ようこそ大東中学校へ。今日から、歴史と伝統ある、そして豊かな自然に恵まれた大東中学校の生徒となりました。心から歓迎します。

さて、君たち一人一人にとって、学校は楽しい場であってほしいと願います。では、どうすれば楽しい学校になるのか、「学校が楽しい」とはどういうことを一緒に考えましょう。

後ろに並ぶ先輩の姿から2つの例を話します。

先日、男子バスケットボール部の練習を見に行った際に、私は何気なく現2年生に「誰が一番上手な生徒ですか」と聞きました。その生徒は、自分の学年で一番うまい生徒の名を言ったあとに、「校長先生、けど一番伸びたのは〇〇君です。伸び率は一番です」と答えました。私は、その「伸び率一番」の言葉が大変うれしかったです。それは、最初、苦手だった生徒も部の中で仲間を支えられながら伸びていったからです。また、仲間の成長をともに喜んでいる姿がうれしかったです。「人は人の中で育つ」。大東中学校はそんな学校です。

次は現3年生の話です。皆さんにも是非とも勉強の目標をもってほしいですが、その生徒はテストの目標点数を持って努力するものの、なかなかそれを達成できずにいました。2年生の2学期の期末テストで初めてその目標点数がとれました。その時に、すごく喜んでいた姿を覚えています。3学期には更に点数を伸ばしました。私は廊下で何気なく「また、伸びたね」とねぎらいの言葉をかけました。その時、その生徒は「いやまだまだです」と言い、謙虚な気持ちが伝わってきました。この生徒は、中学校生活で大切なことは目標をもって努力することだと教えてくれています。また、目標が達成できたら、新たな目標を掲げている姿も真似してほしいところです。

学校が楽しくなるヒントを話しましたが、仲間とともに成長することや目標をもって努力すること、それらが実感できたときにはきっと充実した日々となるはずです。授業の中でも小さな「わかった」「できた」を大切にしてください。また、得意なことや好きなことがあればどんどん挑戦して行ってください。そのことも楽しさにつながると思います。

ひとつ君たちに提案があります。今日の入学式を「約束の日」にしませんか。大東中学校は、君たち一人一人に寄り添いながら、しっかり指導をし、3年後には自分の進路を自分自身の力で切り拓けるようにすることを約束します。

同時にあなたはあなたの心の中で、具体的な目標を持ち、それに向けて粘り強く頑張っていくことを誓ってください。今日がそんな「約束の日」になることを願います。

さて、一つだけ厳しいことも言います。前向きな努力・チャレンジには、時としてうまくいかないときもあり、そんなときは君たちに寄り添っていきます。ただ、学校生活の中で、自分や他人の命を大切にできない、他人の人権を踏みにじむような行為、人を傷つけるような行為に対しては、時には大きな声で叱ります。時には、時間をかけてじっくり話をさせてもらいます。自分自身を大切にするとともに、他人を傷つせず、周りの仲間も大切にできる人であってください。

奇しくも大東中学校の学校教育目標は「心を鍛え 体を鍛えよ 頭を鍛えよ」です。積極的に自分自身を厳しく鍛えて、成長してくれることを期待します。

最後に、保護者の皆さまにお願いがあります。私ども教職員は、「誠意」と「情熱」と「けじめ」をもって全力で教育に取り組めます。子どもさんにとっての中学生の時期は、これまでの自分を壊し、新しい自分を作り出す時期です。まずモデルとなる私たち大人が力を合わせていくことが重要です。私たち教職員一同、一人一人の未来の笑顔のために励むことをお約束しますので、学校教育に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、新入生のみなさんのこれからの学校生活が真に楽しく、充実したものになることを祈念して、「約束の日」の式辞とします。

令和7年4月8日 米原市立大東中学校 校長 河地誠